

真に実効性のある 「流通改善」に邁進する一年に

明けましておめでとうございます。

日頃から日本医薬品卸売業連合会の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年5月の総会で会長就任以来、各方面の方々にはご指導とご協力をいただきましたこと心から御礼申し上げます。また、会員構成員企業の皆様には、日々新型コロナへの対応や需給調整を含め、医薬品の安定供給を通じて、社会的使命を果たしていただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され、人々の生活も平常化しつつある一方で、ジェネリック医薬品の出荷調整や医療用解熱鎮痛薬等の限定出荷、季節性インフルエンザへの対応など、大変困難な状況が続いています。

これまで医薬品は届くのが当たり前でしたが、それが難しい今の状況を踏まえ、これまで以上に、製薬企業、医療従事者の皆様、医薬品卸などの流通当事者間で課題や情報を共有し、相互理解のうえ改善を図りながら、一体となってこの状況を乗り越えていかなければならないと考えています。

昨年6月には有識者検討会の報告書がまとめられ、流通、薬価制度、産業構造等に関する課題について、対応の方向性が示されました。これを踏まえ、卸連合会としても、薬価制度に関しては、中医協、流通問題は、流通改善懇談会を通じて考え方を主張してまいりました。

薬価制度については、薬価の下支えをする仕組

みの拡充が必要であると考えており、中間年改定についても2016年の四大臣合意に立ち返って再度見直すなど、持続的な安定供給の基盤が構築されるよう対応してまいります。

流通改善においては、2024年には厚生労働省により「流通改善ガイドライン」の改訂が行われる予定であり、医療上の必要性が高い医薬品を「別枠」に分類する。また、銘柄別薬価収載の趣旨にそぐわない「総価取引」を是正し、「単品単価交渉」を徹底するなど、流通当事者としての自覚を持って取り組む所存であります。

流通改善については、ご承知のとおり、これまでの取り組みによって一定の改善は図られたものの、いまだ抜本的な改善には至っておらず、一次売差マイナスや総価取引、未妥結・仮納入、頻繁な価格交渉など、過去からの様々な取引慣行が存在しています。

私たち医薬品卸は、今まさに、コンプライアンスを徹底しつつ、過去からの「古い商習慣」を変えていく節目を迎えています。今こそ、各会員企業それぞれが、自ら変わることが重要であり、自らを律し、自らの規範ののちって行動する「自律」と、自らが他者に依存せずに行動する「自立」、この2つの「じりつ」が求められているのではないかと考えています。

そのうえで、流通改善に向けては、製薬企業や医療機関、保険薬局の皆様、医薬品卸など、流通当事者同士の相互理解が必要となります。互いに共感し、納得して行動に移すことで、改善につな

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会
会長

宮田 浩美



げてまいりたいと考えています。

これまでの状況を変えていく一丁目一番地となるのが「流通改善ガイドライン」であります。環境が整い、私たちにとっては待ったなしの状況となりました。今こそ、真に実効性のある「流通改善」に邁進してまいりたいと思います。

2024年度は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の3つが同時に改定されるトリプル改定に加え、薬価制度改革や保険制度の見直しなど、医療業界全体が大きく変化する中で、私たちが対処すべき課題も山積しています。

中でも物流2024年問題については、トラックドライバーの時間外労働の上限規制への対応は間近に迫っており、医薬品の流通に支障が出ないように、製薬企業、医薬品卸、医療機関・保険薬局における医薬品在庫の持ち方の見直しが必要であり、より一層調整・連携を行ってまいりたいと思います。

インボイス制度においては、適格請求書への対応が求められている中、業界内ではお得意様ごとに異なった請求書や伝票で運用されている現状があり、業界全体の請求事務の効率化を図るうえでも、請求書や納品伝票など帳票類のフォーマットの統一化を進めることも必要だと考えています。

他にも様々な課題がありますが、卸連合会としてやるべきことを明確にしたうえで実践するとともに、引き続き、業界として主張すべきことは、中医協や流改懇をはじめ、理事会後の定例記者会見などを通じて申し述べるとともに、より具体的

な政策提言を行ってまいります。

現在、卸連合会では、医薬品卸で働く皆様が自信と誇りを持って働ける職場環境、働き甲斐のある魅力的な産業を目指し、「WE MOVE. —医薬品卸業界から医薬流通産業へ—」を打ち出しています。今年も「WE MOVE.」を合言葉に、「医薬品卸で働きたい」と、次代を担う若者にも共感してもらえるよう、医薬品卸各社が一丸となって前に進んでまいります。

時代が大きく変化する中であっても、私たち医薬品卸の使命は、平時でも有事でも、医薬品を途絶えさせることなく、医療の一翼を担う者として、国民の皆様の安心・安全な医療に貢献していくことであります。

現在、ホームページの刷新や広報用パンフレットの作成を準備していますが、医薬品卸をもっと世の中に知っていただくための活動にも積極的に取り組み、医薬品卸の存在意義や卸連合会としての考え方を業界内外にしっかりと発信してまいりたいと思っています。

最後になりますが、「共感しないと行動に移せない」。この言葉は、私自らの信条であります。会員企業の皆様方と共感しながら、「古い商習慣を変えること」にチャレンジしてまいりたい。そのことが、私たち医薬品卸業界が大きく変わっていける、唯一の道筋だと思っています。

日本医薬品卸売業連合会に関わるすべての皆様のお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。